

11年連続ファイナル6進出決定

第2節：オービック59-0 ROCBULL 9月27日(土) 川崎球場

川崎球場3連戦は圧勝でスタート

秋季リーグ第2節は9月27日(土)川崎球場でROCBULLとの対戦。試合はWR#22古谷晋也がパントリターンで2本のTD、RB#23古川がランで3TDするなど終始オービックのペース。大差で完封勝利を収めました。前節のIBM戦であまり出番のなかった新人選手や若手選手の活躍も多く見られ、収穫の多い試

合となりました。試合後は川崎球場3連戦の特別企画として、「TD数+奪ったターンオーバー数」の特製プラケットのプレゼントや選手との交流会(写真撮影・サイン会)も行われました。試合会場での交流会はチーム初のみでしたが、多くのファンがかけつけてくださり大盛況でした。



WR#22 古谷晋也のリターン TD 後半から出場した QB#15 龍村 K#1 金親の FG キック

第3節：オービック59-7 オール東京ガス 10月11日(土) 川崎球場

ディフェンス陣の活躍で開幕3連勝

第3節の対戦相手は、積極的な補強で上位進出を狙うオール東京ガスクリエイターズ。この試合の最大のトピックは、ゴール前オフェンスでなんとDLの#11ケヴィン・ジャクソンがQBとして登場したこと。長身を生かして2つのTDを奪うなどの活躍を見せ、ダイナミックなプレーで会場を沸かせました。

またDB#21玉ノ井の2つのインターセプトを含むDB陣の計4つのインターセプトや新人DB#42森の鮮やかなパントリターンTDなどディフェンス陣が大暴れ。大勝の原動力となりました。一方、オフェンスはインターセプトとファンブルで3つのターンオーバーを喫するなど課題を残しました。



DB#21 玉ノ井のインターセプト ラッシュする DL#93 福原 WR#19 水口の TD パスレシーブ

第4節：オービック41-7 オール三菱ライオンズ 10月19日(日) 川崎球場

開幕4連勝でFinal6進出を決める

この試合に勝てばFinal6出場が決まる大事な一戦(リーグ最終戦で対戦する鹿島ディアーズは前日にFinal6進出を決めています)。オール三菱ライオンズは甲子園ボウル出場メンバーが顔を揃える侮れない相手。試合は、前節のオール東京ガス戦に続いてQB起用されたDL#11ケヴィン・ジャクソンによる2つ

のTDランや副将RB#36白木の2つのTDランなどで終始オービックがリード。爆発力の加わったディフェンスの活躍もあり、安定した試合運びで快勝し、リーグ戦4連勝でFinal6出場を決めました。なお、この試合の前半にRB#20古谷拓也が秋季公式戦通算5,000ヤードを達成。多くのファンに祝福されました。



キャリアを急襲する LB#2 古庄 RB#36 白木の力強いラン チーム最年長の OL#76 池之上

ゲーム MVP (コーチ選出)



Offense MVP RB#23 古川 宏

6回のキャリアで94ヤード。圧倒的なスピードで3つのTDを獲得。



Defense MVP LB#45 早坂 友貴

4タックル、1ロスタックルをマーク。全てのプレーに対して自分の役割を遂行。



Kicking MVP WR#22 古谷 晋也

6回のパントリターンで106ヤード、2TD。#83清水不在を補って余りある大活躍。

ゲーム MVP (コーチ選出)



Offense MVP QB#44 木下 雅斗

100%のパス成功率。落ち着いたクォーターバックングでオフェンスを牽引。



Defense MVP DB#13 里見 恒将

相手の反撃機会をシャットアウト。2つのパスカット、1つのインターセプトで空中戦を制した。



Kicking MVP DB#47 寺田 隆将

キックオフカバーでは3タックル。パントリターンではパントブロックも。

ゲーム MVP (コーチ選出)



Offense MVP RB#20 古谷 拓也

13回のキャリアで122ヤードを獲得。力強いステップとヒットでビッグゲインを重ねた。



Defense MVP DB#2 古庄 直樹

3タックル、1ボールアタックに加え、試合中盤のアクロバティックなインターセプトが光る。



Kicking MVP LB#44 吉村 龍介

思い切りのよいヒットでキャリアのファンブルを誘い、リカバリーターン TDのお膳立て。

さらに、ファンを増やしていくために

—「東京ドーム1万人プロジェクト」まとめ—

「東京ドーム1万人プロジェクト」を通じて、「リーグ戦で1万人」はまだまだ大きな目標であることがわかりました。しかもスタジアム型のスポーツでは、1万人という集客は少ないと言わざるを得ません。

応援して下さる方を増やすためには、「試合会場にお越しいただき、満足していただくこと」が必要であり、最も効果があることなのだ、今回の活動を通じて、あらためて認識しました。

「東京ドーム1万人プロジェクト」を一過性のイベントで終わらせるのではなく、シーズンを通じて今後も継続させ、来シーズン以降もずっと追求していきます。



1 「東京ドーム1万人プロジェクト」の目的

実現したいこと

- 秋リーグ戦において、東京ドームで行なわれる試合にて、1万人のお客様にお越しいただくこと
- ファンが自ら他の方を誘い、チケットを購入して、試合を観に来てくれること
- この活動を通じて、「動員を手伝ってくれる仲間づくり」を進めること

この活動の持つ意味

- 「リーグ戦で1万人が集まる」という実績を示し、社会的な認知度(評価)を高める
- 選手、コーチ、スタッフに、より素晴らしいパフォーマンスの場を提供し、さらなる成長機会を提供する
- 通常のリーグ戦へ1万人以上のお客様に観に来ていただく新たなモデルを、アメリカンフットボールにおいて確立する

観客動員数以外の目標数値

- ホームページアクセス
日 Ave. 訪問者数: 3,000人、PV: 15,000pv
※昨年の最大値 日 MAX: 3,207人、24,796PV
- メールマガジン
登録総数: 3,000件 ※2007年3月末件数: 728件
- ブースタークラブ
会員数: 300人 ※2007年ブースター: 160人

参考データ:

2007-08 シーズン東京ドーム開催試合の観客数

年月日	観客数	対戦	
07/9/5	2,248	鹿島ディアーズ-東京ガスクリエイターズ	秋季リーグ戦
07/9/6	1,818	富士通フロンティアーズ-オール三菱ライオンズ	秋季リーグ戦
07/9/17	4,424	オンワードスカイラーズ-IBM BigBlue	秋季リーグ戦
07/9/17	1,692	オービックシーガルズ-富士通フロンティアーズ	秋季リーグ戦
07/9/20	2,797	ルネサスハリケーンズ-ROCBULL	秋季リーグ戦
07/9/27	3,323	鹿島ディアーズ-明治安田バイレツ	秋季リーグ戦
07/9/28	2,721	東京ガスクリエイターズ-富士ゼロックス AFC	秋季リーグ戦
07/10/10	4,151	鹿島ディアーズ-IBM BigBlue	秋季リーグ戦
07/10/11	4,043	アサヒビールシルバースター-富士通フロンティアーズ	秋季リーグ戦
07/11/19	5,096	鹿島ディアーズ-オービックシーガルズ	Final6 1回戦
07/12/17	17,629	松下電工インパルス-富士通フロンティアーズ	JAPAN X BOWL
08/1/3	34,487	松下電工インパルス-関西学院大学ファイターズ	RICE BOWL

2 気づき

いとも簡単に1万人以上を集めてしまう、他スポーツ団体(野球、サッカー、他)の凄さを痛感した

例えば、プロ野球は2月1日に一斉にキャンプインし、まずその模様が、新聞、テレビにて報道されます。その後、3月末から4月頭にかけての開幕まで、報道が続きます。「メディアが支持するから人が集まる」のか「人が集まるからメディアが支持する」のかわかりませんが、「メディアに支持されなければ人は集まらない」ということは言えるのだと思います。

スタジアム・イベントを懸命に催したつもりだったが、「試合そのもの以外の盛り上げが足りない」というご指摘を多数いただいた。また、「ルールがわからず、反則などで試合が止まったとき、何が起きているのかわからなくてフラストレーションが溜まる」というご指摘を多数いただいた

アメリカンフットボールという競技をよくご存知の方にとっては、恐らく、観戦の楽しみの多くは「試合そのもの」だと思われる。しかしながら、「初めて観戦に来られた方」あるいは「競技そのものへの理解がまだ深まっていない方」にとっては、試合そのもの以外の、スタジアム内のすべてが興味の対象となり得ることを、あらためて認識する必要を感じました。

お客様に、チームのファンとなって繰り返し来ていただくようになるためには、毎試合「1万人プロジェクト」のような活動をする必要性を感じた

「年に何試合以上観戦に訪れてくださった方がファンである」という定義は存在しませんが、そのシーズン中ずっと、ひいきのチームのことを気にして活躍を楽しみにして下さる方が、「真のファン」なのだと思います。9月10日の試合後、「また応援に行くよ」「活躍を楽しみにしているよ」というありがたいお言葉も多数いただきました。試合会場にお越しいただくための努力と、ご満足いただくための努力を最大限することが、ファンを増やすために最も効果があるのだと思います。

大勢のお客様に観ていただくことが、選手には何よりのモチベーションアップにつながることを再認識した

「勤務先で約30枚カードを配りました。興味がありそうな人々を沢山発見して、配ることが重要だと思いました。」
「昔、一緒に仕事していたメンバーに話したら、部全体(約40名)に声を掛けてくれることになりました。」

「友人と食事に行った時に、店員の方に1万人プロジェクトのチラシとクーポン券を渡し、『私、アメフトやって、もし良かったらお店の方でどうぞ』とPRしたところ、『自分アメフト好きなんです。観に行きたいです!』と好感触でした。こういった活動においても、地道にできることから始めていくことは大切であると思いました。」

以上は、PR期間中に選手から寄せられたコメント(一部抜粋)です。お声がけしていく中で、応援して下さる方の存在を、強く感じる事ができました。

「2005シーズンのライスボウル以来の大観衆ですよ。毎試合あんな観衆だったら最高なので、応援よろしくお願います!(WR#83清水選手)」

「完全にホームゲームでした。スタンドから大きな力をもたらしました。(DB#8渡辺選手)」

「玉ノ井さんが発起人になってチーム全員に積極的に呼びかけた結果だと思えます。今後も継続してやっていきたいですね。リーグ戦初のスターターでしたが、すごく後押しされました。(QB#4木下選手)」

以上が、試合後の選手のコメントです。

最後に、本プロジェクトの発起人でもあり、この試合を戦った選手の一人でもある玉ノ井選手の言葉をご紹介します。

「ベンチに戻るときにいつも、スタンドのお客様が目に入ってきました。試合中、たとえ声援のないときでも、一緒に戦っていてくれるということが、ひしひしと感じられました。自分が『観に来てください!』とお呼びした手前、下手なプレーは見せられない、という気持ちも正直ありました。」

3 今後、さらに力を入れていきたいこと

- 「事前告知(話題作り含む)」と「スタジアムイベント」において、対戦チームと連携、協働すること
- 発信手段を確保すること(HP、メルマガ、メディアによるパブリシティ、口コミ、個人のブログ、etc.)
- 試合会場にて、試合以外にも多彩な楽しみを用意し提供すること(家を出てから、家に帰るまで)
- 競技自体の奥深さや醍醐味に、気づいていただくための各施策
- クオリティの高い試合をさらに追求し、提供すること

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



オービックシーガルズマンスリーレポート 10月号

発行人/並河 研
編集/渡部 滋之
制作・デザイン/高木 慶太
文・写真/藤田 義生
発行/㈱ OFC
〒104-0061 東京都中央区銀座1-19-16 銀座昭和ビル 3F
Tel.03-3567-1313
Fax.03-3567-1312
http://www.seagulls.jp